

笠岡市の魅力ポイント

■面積 136.2km² ■人口 約4.4万人 ■指定地域 離島

<笠岡の地理的特徴といえば！？>

- ・岡山県だけど、福山経済圏
- ・瀬戸内海と笠岡諸島

ここは岡山？広島？



白石島（鎧岩。白石踊は国重要無形民俗文化財）

北木島（千鳥大悟の出身地（家族は今も在住）。
国会議事堂の大理石、大阪城石垣などを産出）

- ・笠岡湾干拓地（大規模農業、ひまわりやコスモス、
菜の花の花畑もきれい）



<笠岡のおいしいものといえば！？>

- ・県内給食の4割をカバーする牛乳！干拓に牛1万頭！
- ・最近人気の笠岡ラーメン（鶏チャーシュー乗せ鶏ガラ醤油ラーメン）
- ・岡山といえばやっぱり桃！白桃の香りがハンパない！
- ・瀬戸内海で獲れたシャコ！（笠岡市の市魚！）
- ・地ビール（六島でクラフトビールを醸造）



<笠岡の特徴といえば！？>

- ・カブトガニの生息地！カブトガニ博物館

※1928年（昭和3年）生江浜海岸が

「天然記念物カブトガニ繁殖地」として、国天然記念物指定。

- ・紅白でも放送されたよね！藤井風の家がすぐそば



笠岡市の課題

■ 政策分野 漁業振興、離島振興

- 笠岡市は、瀬戸内海に面し、有人離島7島を抱える。離島部は人口減少、高齢化、経済活力の低下に悩まされる中、応援隊は主に下記2点の課題に取り組む。

- ①総合海洋教育の拠点をつくる事業である「渚の交番プロジェクト（渚の交番かさおかしまラボ（仮称））」を立ち上げ、収益事業として軌道に乗せる。
- ②飛島で行われている離島留学事業「フリースクール育海（はぐくみ）」が、（運営経費の裏付けのない）2025年以降も継続的安定的に運営できるための道筋を作る。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年5月：オンライン打合せ（顔合せ。市より市の概況、有人離島の様々な課題の説明）
- 7月：オンライン打合せ（視察のスケジュール、内容についてのすり合わせ）
- 7月：現地視察（市長との意見交換、有人離島等の視察、現況把握）
- 8月：オンライン打合せ（応援隊の取り組む課題の設定、離島留学の解決策の提示）
- 10月：オンライン打合せ（渚の交番事業についての現況のヒアリング）
- 11月：オンライン打合せ（渚の交番事業の方針議論、【宿題】島のお土産品案）
- 11月：笠岡思民の会@東京新橋 出席
- 令和6年1月：オンライン打合せ（島のお土産品案調べの報告（宿題返し））

現在の進捗と今後の方針

- 「渚の交番プロジェクト」については、事業主体である「かさおか島ラボ」の構成が明らかになり、また、事業内容の方向性が見えてきた段階。今後は、かさおか島ラボを中心に、事業計画の細部を詰めていく。応援隊としては、現在、新事業の収益の目玉になるお土産産品案について優良事例を調査し、報告した。
- 「育海」については、応援隊から、国の補助事業の活用可能性を中心に、財源案を提言。市では提言を踏まえて、方針を検討中。